

科目名	社会保障制度							年度	2024
英語科目名	Social security system							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	後藤晃弘、宮本功三	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】									
社会保障制度を学ぶだけでなく、法についての基礎も学ぶ。									
【科目の概要】									
医療費等の社会保障制度を学びます。									
【到達目標】									
将来、柔道整復師として業務に従事するうえで「その業務や医療従事者一般として必要な医療福祉法規」を中心社会保障制度を学び、理解しておくべき法令を理解することを目標とする。									
【授業の注意点】									
医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも情報を収集し起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	免許について大変良く理解している	免許について良く理解している	免許についてだいたい理解している	免許についてあまり理解していない	免許について全く理解していない				
到達目標 B	業務について大変良く理解している	業務について良く理解している	業務についてだいたい理解している	業務についてあまり理解していない	業務について全く理解していない				
到達目標 C	施術所について大変良く理解している	施術所について良く理解している	施術所についてだいたい理解している	施術所についてあまり理解していない	施術所について全く理解していない				
到達目標 D	広告と罰則について大変良く理解している	広告と罰則についてについて良く理解している	広告と罰則についてについてだいたい理解している	広告と罰則についてあまり理解していない	広告と罰則についてについて全く理解していない				
到達目標 E	その他の法について大変良く理解している	その他の法について良く理解している	その他の法についてだいたい理解している	その他の法についてあまり理解していない	その他の法について全く理解していない				
【教科書】									
教科書（関係法規-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		社会保険制度			年度	2024
英語表記		Social security system			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	柔道整復師法	目的と免許、消極的資格要件はどういったものなのか。	1 目的	なぜ柔道整復師法ができたのかを理解する。	3	
			2 免許	免許の意味を理解する。		
			3 消極的資格要件	消極的資格要件を理解する。		
2	免許	消極的資格要件や免許の申請はどういったものなのか。	1 消極的資格要件	心身の障害について理解する。	3	
			2 免許の申請	免許の申請の仕方を理解する。		
			3 書類	免許の申請に必要な書類を理解する。		
3	免許	名簿の登録と訂正、登録の消除はどういったものなのか。	1 名簿の登録	柔道整復師名簿の登録事項を理解する。	3	
			2 名簿の訂正	どういったものが名簿の訂をしなければならないのか理解する。		
			3 登録の消除	登録の消除を申請する場合を理解する。		
4	免許	書き換え交付、再交付、国家試験はどういったものなのか。	1 書き換え交付	書き換え交付の必要性を理解する。	3	
			2 再交付	どういった事項で再交付を申請するのかを理解する。		
			3 国会試験	国家試験の不正を理解する。		
5	免許 業務	国家試験、独占について・施術はどういったものなのか。	1 合格証書	合格証書や合格証明書を誰が出すのかを理解する。	3	
			2 業務・名称独占	柔道整復師や他の資格の独占を理解する。		
			3 施術の制限	柔道整復師が行う施術に制限があることを理解する。		
6	業務	診療放射線の扱い守秘義務はどういったものなのか。	1 診療放射線の扱い	診療放射線を扱える資格を理解する。	3	
			2 違反	どういったことをすると違反するのかを理解する。		
			3 守秘義務	秘密を守る義務を理解する。		
7	施術所	施術所の開設届はどういったことをするのか。	1 期限	いつまでに誰に出すのかを理解する。	3	
			2 書類	提出する書類を理解する。		
			3 罰金	どういった時に違反となるのかを理解する。		
8	振り返り	1回～7回までを振り返る	1 免許	免許について理解する。	3	
			2 業務	業務について理解する。		
			3 施術所	施術所について理解する。		
9	重点事項	重点事項を振り返り、もう一度どういったものなのかを知る。	1 免許	免許についての重点事項を復習する。	3	
			2 業務	業務についての重点事項を復習する。		
			3 施術所	施術所についての重点事項を復習する。		
10	施術所	構造設備の基準と立入検査を知る。	1 施術所の構造設備基準	構造設備基準を理解する。	3	
			2 衛生上必要な措置	衛生上必要な措置を理解する。		
			3 立入検査	立入検査を理解する。		
11	広告 名称	広告をしてもよい項目、使ってもよい名前を知る。	1 広告の制限	使ってはならないものを理解する。	3	
			2 名称	使ってはならない名称を理解する。		
			3 違反	違反した場合を理解する。		
12	罰則 序論	罰則を知る。法を知る。	1 罰則	主刑の軽重を理解する。	3	
			2 法	成文法・不文法を理解する。		
			3 インフォームドコンセント	インフォームドコンセントを理解する。		
13	医療過誤とその他の関係法規	医療過誤、その他の資格の法律を知る	1 医療過誤	医療過誤や医療事故調査・支援センターを理解する。	3	
			2 医師法	医師法を理解する。		
			3 その他の身分法	その他の身分法を理解する。		
14	振り返り	9回～13回までを振り返る	1 施術所	施術所全体を理解する。	3	
			2 広告	広告全体を理解する。		
			3 医療過誤などの法	医療過誤やその他の身分法まで理解する。		
15	医療法	医療法を知る	1 定義	定義を理解する。	3	
			2 病院、診療所、助産所	病床数や特記事項を理解する。		
			3 広告	使ってはいけない広告を理解する。		

評価方法：1. 小テスト、19. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等